

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月 2日 更新

事務事業名	セミコンテクノパーク内原水・配水施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春
体系	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進			所属課	上下水道課	担当者名	高岡英之、田中良知
	基本事業	40	企業誘致の促進			所属班	管理工務班	(内線)	1157
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、市工業用水道事業給水条例、同施行規則ほか	成果優先度評価結果	①
								コスト削減優先度評価結果	-
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志市と菊陽町にまたがるセミコンテクノパーク内の事業所等に対し、飲用水を配水する配水施設等(配水池及び配水ポンプ施設、水源地(取水)施設及び配水管等)を運転し、及び維持管理する事業である。熊本県による内陸型工業団地として整備されたセミコンテクノパーク(合志市及び菊陽町)内の飲用水供給のための簡易水道事業として、その供用とともに配水施設等を適切に維持管理するため、平成10年度から事業を開始した。その後、隣接して拡張された原水工業団地(菊陽町)にも配水区域を広げており、菊陽町との事務委託(規約)を締結し、費用負担に関する協議を行いながら維持管理を行っている。
【業務の流れ】	①セミコンテクノパーク内の道配水施設等(配水池及び配水ポンプ施設、水源地(取水)施設及び配水管等)の定期管理(維持管理等の業務委託に関する契約事務、業務立会、結果報告、改善事務等)、②同配水施設等に係る電気設備の保安管理(業務委託に関する契約事務、監督、指導ほか)、③同配水施設等に係る水質検査業務(契約事務等)、④故障等が生じた場合の修繕対応事務(現状の把握、故障原因の調査、専門業者の手配、改善策の検討、契約事務、業務立会、結果確認・検査等)、⑤配水区域内の漏水修繕対応事務(水道修繕業者の手配、修繕策の検討、契約事務、施工立会、検査等)、⑥必要に応じて、菊陽町との協議
【主な予算費目】	水道事業会計 第1款:水道事業費用 第1項:営業費用 第1目:原水及び浄水費 全節(委託料、修繕費、動力費、薬品費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・菊陽町(建設課)から、セミコンテクノパーク内(原水地区)の道路付替え計画に伴う協議がなされている。(協議中) ・地震(近隣市)による濁りが発生し、使用事業所から色度及び濁度について飲用に適した基準値内かどうか確認の依頼があった。(地震発生後、連絡を受けて現状を確認し、臨時水質検査(飲用水)を実施した。濁り改善確認のため、翌日も検査を行い、基準値内であることを確認し文書で回答した。)

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動) (DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
配水施設等(配水池及び配水ポンプ施設、水源地(取水)施設及び配水管等)の定期管理を行い、電気設備の保安管理を行った。配水(浄水)及び原水(取水)について水質検査を実施した。故障等の発生に対し修繕対応を行った。菊陽町から、原水工業団地に係る道路の付替え計画に伴う水道管の移設等について協議を行った。	配水施設等(配水池及び配水ポンプ施設、水源地(取水)施設及び配水管等)の定期管理を行う。配水施設等に係る電気設備の保安管理を行う。配水(浄水)及び原水(取水)について水質検査を実施する。故障等の発生に対し修繕対応を行う。協議中の菊陽町と、2回目以降の協議を予定している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 配水施設等の点検回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
配水区域(セミコンテクノパーク及び原水工業団地)内の事業所	→ ア: 配水池及び原水(取水)施設数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
断水せず飲用水を配水できる。	→ ア: 事故等により断水した回数
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
事故等により断水した回数をみることで、断水せずに飲用水を配水できたかどうかを確認でき、配水施設等が事故なく適切に維持管理できたかどうかを判断できると考えた。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア	回	14	18	20	18	20	20	20	20
② 対象指標	ア	箇所内	1	1	1	1	1	1	1	1
③ 成果指標	ア	回	0	0	1	1	1	1	1	1
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	6,335	3,341	3,808	3,967	3,800	3,800	3,800
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	6,335	3,341	3,808	3,967	3,800	3,800	3,800	3,800
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	6	5	5	2	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	320	260	300	280	300	300	300	300
	(B) 人件費計	千円	1,483	1,049	1,211	1,139	1,211	1,211	1,211	1,211
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,818	4,390	5,019	5,106	5,011	5,011	5,011	5,011	

事務事業名	セミコンテクノパーク内原水・配水施設維持管理事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	--------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 落雷によるポンプ制御盤の故障により、1件断水が発生した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 大規模な災害等の発生にもよるが、断水せずに補修するための技術的な措置及び他の配水施設からの水の融通を講じることで、目標を達成できると見込んでいる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 断水をしない状態(=通常の機能を保持できている状態)を保つことが成果であり、達成状態を維持し続けることが成果であるため、向上の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業として、工業用水道配水施設維持管理事業等があるが、対象が異なるため、統廃合はできない。ただし、事業を行ううえで連携は現在でも行っている。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現状でも、最小限の予算で維持管理を行っており、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限の人員で、他の事業との兼務で維持管理に当たっており、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 使用者からご負担いただく水道料金で賄っており、パーク内全ての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 第三者に事業を委託する方法もあるが、業務の信頼性や災害等緊急対応における事業継続など、住民や地域及び民間等への委託にはまだ実績等の調査及び検討が必要であり、現時点では役割分担は適切である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

自然災害(落雷)による配電盤の故障で1件断水が起きたが、今後はさらに自然災害時の対応の体制の整備、予防対策に力をいれ安定的な水の供給に取り組む。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後も、原水・配水施設等に係る適切なメンテナンスを施すことにより、安定した良質の用水供給を継続していく。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後も、原水・配水施設等に係る適切なメンテナンスを施すことにより、安定した良質の用水供給を継続していく。																						